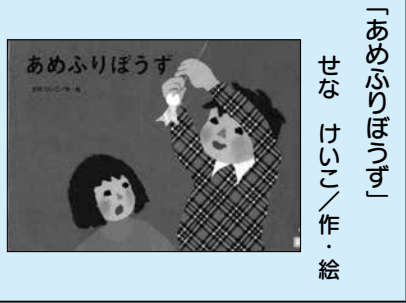


「雨」の絵本



「あめふりぼうず」

せな けいいち / 作・絵

「かさとながぐつ」

二宮 由紀子 / 文
市居 みか / 絵

「どしゃぶり」

おーなり 由子 / ぶん
はた こうしろう / え

今夜は十五夜。なのに雨が降ってきた。てるてるぼうずは、子どもたちに悲しい顔を書かれ、あめふりぼうずに。あめふりぼうずがしくしく泣いていると、お月見だんごが話しかけてきて…。貼り絵の独特な味わいが魅力的な絵本。

せなけいこ氏は、東京生まれ。武井武雄氏に師事。日本児童出版美術家連盟会員。「いやだいやだの絵本」でサンケイ児童出版文化賞受賞。ほかの作品に「おばけのてんぷら」など。

雨の日、かさとながぐつがおでかけしています。「わあい」とながぐつが言うと、かさは「いあわ」と言いました。さかだちしたかさは、言葉もさかさになるのです。雨のなか、大喜びしていると…。言葉遊びが楽しい絵本。

二宮由紀子氏は、1955年大阪府生まれ。作家、翻訳家。「ものすこくおおきなプリンのおうで」で日本絵本賞大賞受賞。

ばらばらっ、じゃばばば、ぶっしゃーん…。ぼくのところに、雨の音が降ってくる。傘なんてけつとばして走れ！どしゃぶりと遊ぼう！雨の音が聞こえる絵本。

おーなり由子氏は、大阪生まれ。絵本作家、漫画家。エッセイや子どもの歌の作詞も手がける。

その他の本

- ◆ 「ぼつぼつぼつだいじょうぶ？」
しもかわら ゆみ / 作
- ◆ 「チリとチリりあめのひのおはなし」
どい かや / 作
- ◆ 「モリくんのあめふりぴーまんカー」
かんべ あやこ / 作
- ◆ 「くすのきだんちのあめのひ」
ふしか 武鹿 悦子 / 作
すえざき 末崎 しげき 茂樹 / 絵
- ◆ 「あめといっしょに」
たなか 田仲 ゆか 由佳 / 作
- ◆ 「あめがふるふる」
たじま 田島 せいぞう 征三 / 作

6月の催しもの

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6月30日（火）までの図書館で開催する行事は中止とさせていただきます。

蔵書と図書館システムの点検による休館

休館期間：6月30日（火）から7月14日（火）まで

※上記の休館に伴い、6月17日（水）から29日（月）までの間、資料の貸出期間を4週間とします。

俳句 「瓢苗」

水を遣るしぶき路地まで瓢苗
ま青なる家郷の空や風薫る
獣道を里へと辿る五月闇

ふそう俳句会

川柳

ポイントの溜まる喜び無駄を買い
ムカデ型ロボット出来る世の早さ
三代を働き抜いた手労り

扶桑川柳クラブ

短歌

ようやくに根付きし胡瓜ゴーヤ苗
夏空めざし高く伸びゆく
憂き世とて変わらず空に浴け込みて
青き紫陽花今年も咲きぬ
いずこから鳥はこび来し実の一つ
庭に南天の苗そだちゆく

ふそう短歌会

詩吟

「酔うて祝融峰を下る」朱熹
我來つて万里長風に賀す
絶壑の層雲許く胸を盪かす
濁酒三杯豪気発す
朗吟飛び下る祝融峰

朱熹

「意」万里の彼方から吹いてくる風に乗って、この祝融峰にやってきた。深い谷から、もくもくと湧き出る幾層にも重なった雲の様は、胸を揺すって止まない。濁り酒を立て続けに三杯もあおると、たちまち豪快な気分がわき起こる。高らかに詩を吟しながら、飛ぶように祝融峰を走り下ってきた。

正風流二代目家元 山内 正風